

漢字学習に意欲的に取り組み、確かな漢字能力を身につけた児童の育成 ——「おおやま漢字検定」を生かした漢字学習システムの構築を通して（1年次）——

福島県安達郡大玉村立大山小学校 校長 安齋 宏之

1. はじめに/背景

本校は、平成20年度から、児童の確かな学力の向上をめざし、授業における学び合いを重視した取り組みを続けてきた。その結果、意欲的に学習活動に取り組む児童の姿は見られるようになったが、NRTの結果では、わずかではあるが前年度を下回るなど、取り組みの成果が見られなかった。その原因は、語彙力、漢字力など、基礎的・基本的な言葉の力が身につけていないことにあると考えられる。

そこで、児童が意欲的に漢字学習に取り組める漢字学習のシステムを構築することで、児童一人一人に確かな漢字の力を身につけさせたい。さらに漢字の学習を通して語彙を豊かにし、自分の思いを的確に表現できるようにさせ、確かな学力の向上につなげていきたい。

2. 目的

- 漢字に対する児童の学習意欲を高め、確かな漢字の力を身につけさせる。
- 保護者の漢字学習に対する意識を高める。
- 教師の漢字学習に対する指導力を向上させる。

3. 仮説

漢字の指導において、「おおやま漢字検定」を生かした漢字学習システムを構築し、教師の適切な指導・支援を行えば、児童は意欲的に漢字学習に取り組み、確かな漢字能力を身につけるであろう。

(1) 「おおやま漢字検定」

各学年の配当漢字を12ブロックに分け、ワークプリントを活用して、読み、筆順、部首、例文作りなどを学習させ、学習終了後に、確認テストを行う。漢検の各級に相当した試験問題を本校独自に作成し、9月、11月、1月に受けさせ、漢字の習得状況を確認させる。

(2) 漢字学習システムの構築

「おおやま漢字検定」を生かして、児童が主体的に漢字学習に取り組めるようにするための学習システム（授業での学習→チャレンジタイム等の授業外の学習→家庭学習など、それぞれの学習の場を活用し、「おおやま漢字検定」を生かし、児童自ら漢字学習に取り組み、漢字力を向上させる仕組み）を構築する。

- ① 児童に漢字学習のマネジメント力をつけさせる。

児童一人一人に漢字学習の目標と計画を立てさせ、取り組ませる。漢字学習ファイルを配付し、計画表やプリント類を綴らせ、児童自らマネジメントサイクルを意識した取り組みができるようにする。

② チャレンジタイムを実施する。

放課後に、学年ごとに、学習ボランティアの支援を受け、漢字の学習をする場を作る。

③ 日課表に漢字学習の時間を位置づける。

毎週月曜日の1校時に15分間の漢字学習の時間を位置づけ、年間を通して継続的に漢字学習ができるようにする。

④ 保護者の関心を高める。

家庭学習において、保護者の支援が得られるよう啓発活動を行う。

(3) 教師の適切な指導・支援

児童が、漢字に興味・関心を持ち、進んで漢字学習に取り組むようにするためには、教師の適切な指導・支援が欠かせない。そこで、一人1回の漢字を題材とした研究授業を行い、教師の指導力を高める。

4. 調査・研究方法

(1) 児童の漢字学習に対する実態調査

① 質問紙調査（資料1参照）

- ・対象学年 3年生 37名（男21名、女16名）
5年生 39名（男14名、女25名）

- ・時期・回数 7月と2月の2回

② 漢字力調査（質問紙調査にあわせ実施）（資料1参照）

③ 標準学力検査（NRT）

- ・対象学年 全学年
- ・時期 2月

④ 漢検

- ・対象学年 全学年
- ・時期 2月

(2) 「おおやま漢字検定」

- ① 各学年配当漢字の12ブロック分け 4～5月

- ② ワークプリントの作成 4～5月

- ③ 確認テスト・検定問題の作成 5～8月

(3) 漢字学習システムの構築

- ① 漢字学習ファイルの活用 9～3月

② チャレンジタイム

- ・1～3年生 11月に5日間

- ・4～6年生 5月に7日間、7月に3日間、11月に6日間
- ・5～6年生 12月に8日間

③ 保護者の啓発活動（PTA教育講演会）

- ・対象 児童・保護者・教職員
- ・時期 7月
- ・会場 本校体育館
- ・内容
 - 講師 日本幼児教育振興会 土屋秀宇先生
 - 演題 「なるほど！漢字ワールド」

(4) 教師の指導力向上

① 授業研修会

- ・1年 「かんじのはなし」 10月 28名
- ・2年1組「おくりがなに気をつけよう」 11月 19名
- ・2年2組「おくりがなに気をつけよう」 1月 19名
- ・3年1組「漢字の表す意味を考えよう」 10月 19名
- ・3年2組「漢字の表す意味を考えよう」 11月 18名
- ・5年1組「熟語の構成を知ろう」 6月 20名
- ・5年2組「熟語の構成を知ろう」 6月 20名
- ・6年2組「言葉の由来に関心を持とう」 11月 19名

② 模範授業と講演会

- ・対象 本校教職員
- ・時期 11月
- ・講師 卯月啓子先生
- ・内容
 - 6年1組を使った模範授業（四字熟語）
 - ワークショップ型講演会

③ 先進校視察

- ・訪問先 立命館小学校・京都市立養正小学校
- ・時期 11月
- ・参加者 3名

(5) その他

① 漢検DSトレーニングの活用

全学年で随時実施

② 校長先生の国語教室

毎月実施

5. 結果

(1) 児童の漢字学習に対する実態調査

- ① 質問紙調査（表1参照）
 - 漢字の学習を好む児童の割合（①好き+②どちらかという人喜欢）
3年生では、7月より2.7%増加し、5年生では、10.1%増加した。
 - 辞書を活用する児童の割合（①使う+②時々使う）
3年生では、7月より7.5%増加したが、5年生では、14.4%減少した。
 - 作文を書くとき、習った漢字を活用する割合（①使う+②だいたい使う）
3年生では、「使う」「だいたい使う」の割合は、94.6%と変わらないが、「使う」児童の割合は、5.4%増加した。5年生では、「使う」「だいたい使う」の2月の割合は、97.2%で、7月より5.3%増加した。
 - 読書を好む児童の割合（①好き+②どちらかという人喜欢）
3年生では、読書を好む児童の割合が、7月と変わらず94.6%と高く、5年生では、7月より5.2%増加し94.4%であった。
 - 家庭学習で漢字を学習する児童の割合（①毎日やる+②5～6日）
3年生・5年生とも「毎日やる」「週5～6日やる」と回答した児童の割合が、7月より減少している。
 - 家の人と学習する割合（①よくやる+②時々やる）
3年生では、7月より5.3%増加し、5年生では、20.2%と大幅に増加した。
- ② 漢字力調査（表2～5参照）
 - 3年生
正答率は、36.4%から53.3%に上昇した。特に3年生の新出漢字「屋」は、16.2%から78.4%、「根」13.5%から75.7%と大幅に上昇した。
 - 5年生
正答率は、71.0%から82.8%に上昇した。特に3年生の新出漢字「授」は、35.1%から75.0%と大幅に上昇するなど、他の既習漢字の正答率が向上した。
 - 未習の漢字も含め、漢字を使って表現しようとする児童が増えた。
- ③ 標準学力検査（NRT）（平成24年2月実施）
 - 3年生
言語事項の領域については、全国比109と全国平均を上回った。特に「辞書の活用」（全国比116）「漢字の構成、読み・書き」（全国比109）は、全国平均を上回る正答率となった。
 - 5年生
言語事項の領域については、全国比114と全国平均を上回った。特に「複合語や正しい仮名遣い」（全国比132）、「漢字の構成、読み・書き」（全国比117）と全国平均を上回る高い正答率となった。
- ④ 漢検
 - 3年生
学年相当級（8級）の合格者の割合は、80.5%であった。また、学年相当級以外も含

めると合格率は、94.4%であった。

○ 5年生

学年相当級（6級）以上の合格者の割合は、50.0%であった。また、学年相当級以外も含めると合格率は、86.8%であった。

○ 全校生の合格率 90.3%

○ 学年相当級以上の合格者の割合 68.1%

(2) 「おおやま漢字検定」

各学年配当漢字を12ブロックに分けた。(写真1) (ただし、1・2年生は、あわせて12ブロック) 分け方は、学習指導要領の「学年別漢字配当表」の順に行った。

児童は、ワークプリント(写真3)を活用し、1ブロックの学習が終わると、確認テスト(写真2)を受け、合格すると次のブロックの学習に進むというやり方で学習を進めた。国語の単元進行にかかわらず、新出漢字の学習を進めることができることや、他の学年の漢字の学習もできることを生かして、意欲的に取り組む姿が見られた。しかし、確認テストと学校独自の検定問題は、作成が間に合わず、一部の学年でしか実施できなかった。

「おおやま漢字検定」チェック表 ()年()名前			
3年の漢字 ◆終わったら、番号に○をつけよう。			
ブロック	番号	内容	テストの○
12月	①	悪 安 暗 医	
	②	委 意 育 貝	
	③	院 飲 運 泳	
	④	駅 央 横 屋	
11月	①	温 化 荷 開	
	②	界 階 寒 感	
	③	漢 階 岸 起	
	④	期 客 究 急	
10月	①	級 宮 球 去	
	②	橋 業 曲 局	
	③	銀 苦 具 血	
	④	湖 向 幸 港	

写真1. 「おおやま漢字検定」配当漢字表 3年生

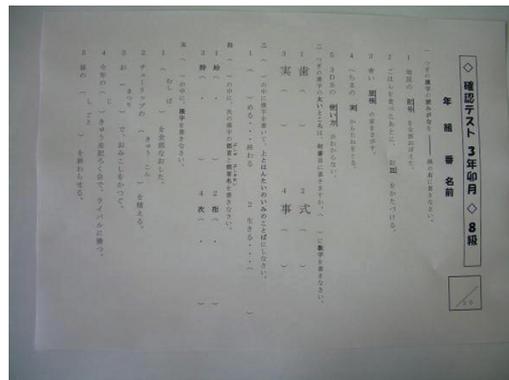


写真2. 確認テスト 3年生

写真3. ワークプリント



写真4. 漢字学習ファイル

(3) 漢字学習システムの構築

① 漢字学習ファイルの活用

漢字学習ファイル(写真4)を全校生に配付し、学習計画表(写真5)を作成させた。

学習計画表には、目標、学習計画、反省、家庭・先生からの励まし、今年度の反省と来年

度の目標欄を設けた。児童は、自己の反省、家庭・教師からの励ましやアドバイスをもとに学習を主体的に進めることができた。

月	学習計画	反省
10月	100字で漢字 書きをひたひたやる	毎日100字を 書いてみる。漢字の 意味がわかるように やる。
11月	漢字学習テープは 毎日ひたひたやる	毎日100字を 書いてみる。漢字の 意味がわかるように やる。
12月	100字で漢字を 書く。漢字の意味 がわかるようにやる。	毎日100字を 書いてみる。漢字の 意味がわかるように やる。
1月	習った漢字は その日の内に ひたひたやる	毎日100字を 書いてみる。漢字の 意味がわかるように やる。

写真5. 学習計画表



写真6. チャレンジタイムの学習ボランティア

② チャレンジタイム

- 1～3年生は11月に5日間、4～6年生は5月に7日間、7月に3日間、11月に6日間、5～6年生は12月に8日間予定どおり実施できた。学習内容や進め方は、各学年によって多少違いはあるが、5月・7月は、「おおよま漢字検定」に沿って新出漢字の習得に向けた学習を行い、11月・12月は、自分の受検級合格に向けた学習に取り組んだ。
- チャレンジタイムには、のべ78名の学習ボランティア（写真6）にご協力いただいた。

③ 保護者の啓発活動（PTA教育講演会）

- ・対象 児童・保護者・教職員
- ・期日 7月9日
- ・会場 本校体育館
- ・内容

- 講師 日本幼児教育振興会
副理事長 土屋秀宇先生
- 演題 「なるほど！漢字ワールド」

保護者150名の参加を得て、親子で楽しく漢字の学習をすることができた。

保護者の感想……「漢字のおもしろさが分かりました。親子で漢検がんばりたいと思います。」

児童の感想……「漢字の成り立ちがおもしろかったので、他の漢字も辞書で調べてみたいと思った。」



写真7. 講演を行う土屋先生

(4) 教師の指導力向上

① 授業研修会

- ・1年 「かんじのはなし」 10月18日 28名
- ・2年1組「おくりがなに気をつけよう」 11月15日 19名
- ・2年2組「おくりがなに気をつけよう」 1月20日 19名

- ・3年1組「漢字の表す意味を考えよう」 10月26日 19名
- ・3年2組「漢字の表す意味を考えよう」 11月11日 18名
- ・5年1組「熟語の構成を知ろう」 6月10日 20名
- ・5年2組「熟語の構成を知ろう」 6月30日 20名（資料3参照）
- ・6年2組「言葉の由来に関心を持とう」 11月24日 19名

〈明らかになったこと〉

- ゲーム的要素を入れた活動をさせることで、児童は意欲的に学習に参加するようになった。
- 本時のみの学習で終わるのではなく、オープンエンド的な学習にすることで、以後の主体的な学習に結びついた。
- 漢字の成り立ちや意味に触れさせることで、一つの漢字から他の漢字や言葉へと発展的な学習につながった。
- 学習した漢字を使った例文作りを取り入れたことで、漢字を作文に使う児童が増えた。

② 模範授業と講演会

- ・対象 本校教職員
- ・期日 11月21日
- ・講師 「卯月啓子の楽しい国語」の会
代表 卯月啓子先生

・内容

- 6年1組を使った模範授業(四字熟語)
- ワークショップ型講演会



写真8. 模範授業をする卯月先生

〈学んだこと〉

- ただ漢字を教えるのではなく、「読む」「書く」「話す」「考える」活動をバランスよく行うことで、漢字だけでなく総合的に国語力を向上させることが大切である。
- 漢字ノートに数多く練習させるなど腕力勝負、体力勝負の漢字学習では、子どもは意欲的に取り組まない。カルタ作りや言葉遊びを取り入れ、楽しく学べるような活動を取り入れる。

③ 先進校視察

- ・訪問先 立命館小学校・京都市立養正小学校
- ・期日 11月30日
- ・参加者 3名

〈学んだこと〉

- 立命館小学校
授業参観や立命館小メソッドの説明から、1年生からの辞書の活用（写真9）のさせ方や漢検の取り組み方、授業以外の漢字学習の進め方について学ぶことができた。
- 京都市立養正小学校
「漢字講座」の運営や家庭学習の支援方法など、子どもたちの自主的な漢字学習を



写真9. 立命館小学校児童の辞書

支えるきめ細かな指導方法について学ぶことができた。

6. 考 察

(1) 児童の漢字学習への意欲的な取り組みについて

漢字学習を好む児童の割合の増加は、児童が漢字学習に意欲的に取り組むようになったことの表れと考える。(家庭における漢字学習の時間の減少は、漢検の全校受検後の調査のため、7月調査よりも減少したものと考える。) その要因としては、これまでの腕力勝負、体力勝負の漢字の授業から、児童の漢字に対する興味・関心を高め、楽しく漢字を学ぶ授業への質的転換が図られたためと考える。また、漢字の学習計画表を作成させ、主体的な学習を促したことも意欲づけにつながったと考える。家の人と学習する児童が増えたことは、保護者の関心が増し、家庭学習において、適切な指導や励ましが行われたためであろう。さらに、チャレンジタイムにおけるボランティアの皆さんからの声掛けは、児童の自尊感情を高め、学習意欲の向上につながったと考える。

(2) 確かな漢字能力の定着について

漢字力調査では、7月より2月の方が、3年生・5年生とも正答率が10%以上向上していることやNRTの正答率が全国平均を上回っていること、さらには漢検の合格率が90%を超えたことから、確かな漢字能力の定着が図られたと考える。また、質問紙調査により、作文において漢字を使おうとする児童の増加も、漢字能力の向上を裏付けるものと思われる。

これらは、「おおやま漢字検定」を生かした漢字学習システムにより、授業→授業外の学習(チャレンジタイム等)→家庭学習と漢字学習の場が保障され、連続的な学習ができるようになったためと考える。また、学習計画表の活用により、漢字学習に主体的に取り組むようになったこと。授業において、漢字の成り立ちや意味などに着目させ、ゲーム的な活動を取り入れることで、児童の漢字に関する興味・関心が高まったことなども、漢字能力の定着に有効に働いたと考える。

7. 結 論

(1) 「おおやま漢字検定」について

「おおやま漢字検定」という本校独自の進級テスト形式を創設しようとしたが、確認テストの作成など、問題の作成に時間を要し、体系化することはできなかった。しかし、1年生から6年生までの各学年の配当漢字を12ブロックに分け、ブロックごとにワークプリントを活用して、読み、筆順、部首、例文作りなどを通して学習していくことは、新出漢字を学年の早い段階に抜け落ちなく学習するうえでは、効果的であり、児童の主体的な漢字学習を支援する取り組みとして、有効であった。

(2) 漢字学習システムの構築について

「おおやま漢字検定」を生かして、児童が主体的に漢字学習に取り組めるようにするための学習システムを構築したことは、大変効果的であった。これまでの漢字学習は、教科書の

単元配列にそって提示される新出漢字を、教師主導で教えるというスタイルの学習であったが、今回の学習システムにより、児童の興味・関心、能力にあわせて、主体的に漢字の習得が可能になった。これは、授業での学習→チャレンジタイム等の授業外の学習→家庭学習と、児童の漢字学習の場が確保され、しかも児童の生活に沿って漢字学習が連続的に進めるようになったためである。また、それぞれの学習場面では、教師、地域のボランティア、家族などが指導・支援したことで、児童の自尊感情が高まり、学習意欲を向上させることにもつながった。

(3) 教師の指導力向上について

研究授業や模範授業・講演会、先進校視察などにより、これまでの腕力勝負、体力勝負の漢字の授業から、児童が楽しく漢字を学ぶ授業への質的転換が図られた。最大の要因は、教師の漢字指導への意識が変わったことである。「教える漢字の授業」から「子ども自らが学びとる漢字の授業」への転換である。

以上の取り組みにより、本校児童は、意欲的に漢字学習に取り組み、確かな漢字能力を身につけることができるようになった。

8. 展 望

- 今年度の取り組みでは、「おおやま漢字検定」という本校独自の進級テスト形式を完成させることはできなかった。1年生から6年生までの各学年の配当漢字を12ブロックに分けて学習させることと、学習内容の定着状況を測るテストとの関連性を再度検討し、児童が、自分の興味・関心や能力に合わせて、主体的に漢字学習に取り組めるよう、「おおやま漢字検定」の完成に向け、努力していきたい。また、12ブロックの分け方も、同一の部首で分けるなど、児童が関連付けて覚え易く工夫することにも取り組んでいきたい。
- 学校は、知識や技能を身につける場であると同時に、知識の獲得の仕方、学び方を学ぶ場でもある。「児童に漢字学習のマネジメント力をつけよう」という試みは、学校本来の機能につながるもので、今後、児童には、尚一層のマネジメント力を育てていきたい。
- これまで、児童の漢字学習の場を「学校」という限られた場に捉えられがちであったが、本来、児童の生活も学習も連続的なものであり、学校・家庭・地域が一体となって取り組むべきものである。今年度の取り組みにおいて、地域のボランティアの力を借りたり、保護者の支援を得られたりしたことは、漢字の学習に限らず、「子どもを育てる」という意味において、大きな意味があったと考える。今後は、地域の教育力、家庭の教育力の再生につながるよう漢字学習システムを発展させていきたい。

9. 引用文献・参考文献

- 『まるごと立命館小メソッド!～発見・創造、基礎基本～』立命館小学校 著 学事出版 2009年
- 『楽しい国語1 漢字と遊ぶ・漢字で遊ぶ』卯月啓子 著 東洋館出版社 2003年

10. 付表・資料

「資料1：質問紙調査及び漢字力調査用紙 3年生用」

漢字学習アンケート①

____年 ____組 ____番 名前 (_____)

あてはまる番号に○を付けてください。

1 漢字の学習は、好きですか。

- ① 好き ② どちらかというとき好き ③ どちらかというとき嫌い ④ 嫌い

2 漢字の学習をするとき、辞書じしょを使いますか。

- ① 使う ② 時々使う ③ あまり使わない ④ 使わない

3 作文を書くときに、習った漢字を使いますか。

- ① 使う ② だいたい使う ③ あまり使わない ④ 使わない

4 本を読むのは、好きですか。

- ① 好き ② どちらかというとき好き ③ どちらかというとき嫌い ④ 嫌い

5 家で、漢字の学習をやりますか。(1週間のうち、何日やるか)

- ① 毎日やる ② 5～6日 ③ 3～4日 ④ 0～2日

6 家で漢字を学習するとき、お家の人とやるときはありますか。

- ① よくやる ② 時々やる ③ あまりやらない ④ やらない

7 次の文章を、できるだけ、漢字を使って書きなさい。

このむらのちゅうしんにあるいえのやねは、じょうごのようなかたちをしています。いどをほってもしおからいみずしかでないため、やねであまみずをいえにとりこんで、のみみずとしてりようするのです。

「資料2：質問紙調査及び漢字力調査用紙 5年生用」

漢字学習アンケート①

年 組 番 名 前 ()

あてはまる番号に○を付けてください。

1 漢字の学習は、好きですか。

- ① 好き ② どちらかというが好き ③ どちらかというときらい ④ きらい

2 漢字の学習をするとき、辞書じしょを使いますか。

- ① 使う ② 時々使う ③ あまり使わない ④ 使わない

3 作文を書くときに、習った漢字を使いますか。

- ① 使う ② だいたい使う ③ あまり使わない ④ 使わない

4 本を読むのは、好きですか。

- ① 好き ② どちらかというが好き ③ どちらかというときらい ④ きらい

5 家で、漢字の学習をやりませんか。(1週間のうち、何日やるか)

- ① 毎日やる ② 5～6日 ③ 3～4日 ④ 0～2日

6 家で漢字を学習するとき、お家の人とやるときはありますか。

- ① よくやる ② 時々やる ③ あまりやらない ④ やらない

7 次の文章を、できるだけ、漢字を使って書きなさい。(治は、人の名前です。)

治がちゅうがくになったころ、ちゅうがくのじゅぎょうはなくなった。せんそうのためにはたらくひとがへったので、ちゅうがくせいもこうじょうへいってのはたらくことになったのである。ちからしごとがとくいでない治も、けんめいにはたらいた。

<hr/> <hr/> <hr/>

表1. 質問紙調査結果

1 「漢字の学習は、好きですか」 (％)

		① 好き	② どちらかというとき好き	③ どちらかというとき嫌い	④ きらい
3年生	7月	54.1	40.5	5.4	0
	2月	62.2	35.1	2.7	0
5年生	7月	27.0	37.9	27.0	8.1
	2月	30.6	44.4	16.7	8.3
平均	7月	40.5	39.2	16.2	4.1
	2月	46.6	39.7	9.6	4.1

2 「漢字の学習をするとき、辞書を使いますか」 (％)

		① 使う	② 時々使う	③ あまり使わない	④ 使わない
3年生	7月	24.3	43.2	32.5	0
	2月	13.9	61.1	25.0	0
5年生	7月	45.9	48.7	5.4	0
	2月	27.0	54.1	18.9	0
平均	7月	35.1	46.0	18.9	0
	2月	20.5	57.6	21.9	0

3 「作文を書くときに、習った漢字を使いますか」 (％)

		① 使う	② だいたい使う	③ あまり使わない	④ 使わない
3年生	7月	46.0	48.6	5.4	0
	2月	51.4	43.2	5.4	0
5年生	7月	43.2	48.7	5.4	2.7
	2月	50.0	47.2	2.8	0
平均	7月	44.6	48.6	5.4	1.4
	2月	50.7	45.2	4.1	0

4 「本を読むのは、好きですか」 (％)

		① 好き	② どちらかというとき好き	③ どちらかというとき嫌い	④ きらい
3年生	7月	67.6	27.0	5.4	0
	2月	59.5	35.1	5.4	0
5年生	7月	54.1	35.1	8.1	2.7
	2月	58.3	36.1	5.6	0
平均	7月	60.8	31.1	6.8	1.3
	2月	58.9	35.6	5.5	0

5 「家で、漢字の学習をやりませんか」(1週間のうち、何日やるか) (%)

		① 毎日やる	② 5~6日	③ 3~4日	④ 0~2日
3年生	7月	27.0	27.0	37.8	8.2
	2月	10.8	32.4	43.3	13.5
5年生	7月	51.4	21.6	18.9	8.1
	2月	30.6	27.8	25.0	16.6
合計	7月	39.2	31.3	28.4	12.1
	2月	20.5	30.1	34.3	15.1

6 「家で漢字を学習するとき、お家の人とやるときはありますか」 (%)

		① よくやる	② 時々やる	③ あまりやらない	④ やらない
3年生	7月	24.3	35.2	16.2	24.3
	2月	24.3	40.5	21.7	13.5
5年生	7月	5.4	24.4	35.1	35.1
	2月	2.8	47.2	13.9	36.1
合計	7月	14.9	29.7	25.7	29.7
	2月	13.7	43.8	17.8	24.7

表2. 漢字力調査結果 3年生 1回目 平成23年7月

新出学年	村	中	心	家	屋	根	形	井	戸	掘	塩	辛	水	出	雨	取	込	飲	利	用	合計
	1	1	2	2	3	3	2	常	2	常	4	常	1	1	1	3	常	3	4	2	
3-1-01	○	○	×	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	×	○	-	○	×	○	12
3-1-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	×	○	14
3-1-03	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○	-	○	×	○	14
3-1-04	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	11
3-1-05	○	○	×	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	×	○	11
3-1-06	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	10
3-1-07	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	4
3-1-08	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	6
3-1-09	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	8
3-1-10	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	8
3-1-11	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	7
3-1-12	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	×	-	7
3-1-13	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	8
3-1-14	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	×	○	10
3-1-15	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	8
3-1-16	○	-	-	×	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	3
3-1-17	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	7
3-1-18	×	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	5
3-1-19	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	×	-	-	-	-	4
小計	18	17	14	18	5	5	18	2	5	0	0	1	19	10	8	3	0	6	0	8	8.26
3-2-01	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	6
3-2-02	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	7

○ 正答
× 誤答
- 無答

漢字学習に意欲的に取り組み、確かな漢字能力を身につけた児童の育成

3-2-03	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	9		
3-2-04	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	5		
3-2-05	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	6		
3-2-06	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	6		
3-2-07	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	6		
3-2-08	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	×	7		
3-2-09	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	×	○	-	○	-	-	-	-	7		
3-2-10	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	×	○	○	-	-	-	-	-	7		
3-2-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
3-2-12	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	6		
3-2-13	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	×	10		
3-2-14	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	×	8		
3-2-15	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4		
3-2-16	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	5		
3-2-17	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	6		
3-2-18	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	7		
小計	17	17	15	17	1	0	13	0	5	0	0	16	3	6	0	0	0	0	2	6.22	
合計	35	34	29	35	6	5	31	2	10	0	0	1	35	13	14	3	0	6	0	10	7.27

○ 正答
× 誤答
- 無答

正答率 1組 41.3% 2組 31.1% 学年 36.4%

表3. 漢字力調査結果 3年生 2回目 平成24年2月

	村	中	心	家	屋	根	形	井	戸	掘	塩	辛	水	出	雨	取	込	飲	利	用	合計
新出学年	1	1	2	2	3	3	2	常	2	常	4	常	1	1	1	3	常	3	4	2	
3-1-01	○	○	×	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	×	○	-	○	×	○	12
3-1-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	×	○	14
3-1-03	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○	-	○	×	○	14
3-1-04	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	11
3-1-05	○	○	×	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	×	○	11
3-1-06	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	○	×	○	-	○	-	○	13
3-1-07	○	○	×	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	5
3-1-08	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	8
3-1-09	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-	×	○	○	○	-	-	○	×	○	13
3-1-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	○	-	○	16
3-1-11	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	10
3-1-12	○	○	○	○	-	-	○	×	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	×	○	9
3-1-13	○	×	×	○	○	○	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	○	×	○	10
3-1-14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	15
3-1-15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	14
3-1-16	○	○	×	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	5
3-1-17	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	○	11
3-1-18	×	○	×	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	×	-	×	×	-	4
3-1-19	○	○	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	×	-	-	-	-	4
小計	18	18	11	19	14	14	18	6	9	0	1	3	19	11	5	8	0	14	0	11	10.47
3-2-01	○	○	×	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	×	×	10
3-2-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	11
3-2-03	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	16
3-2-04	○	○	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	6

○ 正答
× 誤答
- 無答

3-2-05	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	-	○	-	○	-	-	○	○	○	14
3-2-06	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	×	-	10
3-2-07	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	×	-	11
3-2-08	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	○	×	○	15
3-2-09	○	○	×	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	9
3-2-10	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	×	○	13
3-2-11	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	6
3-2-12	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	×	-	-	7
3-2-13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	17
3-2-14	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	×	○	13
3-2-15	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	7
3-2-16	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	×	○	○	-	-	-	×	-	-	8
3-2-17	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	×	○	12
3-2-18	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	×	-	○	-	○	-	-	○	×	-	10
小計	18	18	14	18	15	14	16	5	5	0	1	2	17	14	10	4	0	14	3	7	10.83
合計	36	36	25	37	29	28	34	11	14	0	2	5	36	25	15	12	0	28	3	18	10.65

○ 正答
× 誤答
- 無答

正答率 1組 52.4% 2組 54.2% 学年 53.3%

表4. 漢字力調査結果 5年生 1回目 平成23年7月

	中	学	頃	意	授	業	無	戦	争	働	人	減	生	工	場	行	力	仕	事	得	懸	命	合計	
新出学年	1	1	常	3	3	3	4	4	4	4	1	5	1	2	2	2	1	3	3	4	常	3		
5-1-01	○	○	-	○	×	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	×	-	-	14	
5-1-02	○	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	17
5-1-03	○	○	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	×	11	
5-1-04	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	19
5-1-05	○	○	-	-	-	○	-	○	○	×	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	9	
5-1-06	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	-	18
5-1-07	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	14
5-1-08	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	20
5-1-09	○	○	-	○	○	○	-	×	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	×	-	-	14
5-1-10	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	4	
5-1-11	○	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	-	16
5-1-12	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	20
5-1-13	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	20
5-1-14	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	17
5-1-15	○	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	-	13
5-1-16	○	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	17
5-1-17	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	20
5-1-18	○	○	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	17
5-1-19	○	○	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	16
小計	19	19	0	12	9	17	5	17	18	16	16	13	18	16	15	16	19	16	18	9	0	8	15.58	
5-2-01	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	20	
5-2-02	○	○	-	-	×	○	-	○	○	○	○	○	○	-	×	-	○	○	-	×	-	-	11	
5-2-03	○	○	-	○	×	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	15	
5-2-04	○	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	17	
5-2-05	○	○	-	-	-	○	-	-	○	○	○	×	○	○	×	-	○	○	○	×	-	-	11	

○ 正答
× 誤答
- 無答

「資料3. 5年2組の授業記録」

第5学年 国語科学習指導案

日 時：平成23年6月30日（木）2校時

場 所：5年2組教室 授業者：最上万智子

《授業テーマ》 二字熟語の型分けゲームを通して、熟語の構成に着目させ、意味が分からない熟語のおおよその意味を推測できるようにする授業。

1 単元名 熟語の構成を知ろう（本時2/2）

2 本時の目標

熟語を構成する漢字一字一字の意味とその構成に着目することで、熟語のだいたいを推測することができる。（知識・理解・技能）

3 本時の展開

学習活動・内容	時間	○留意点 ※評価
<p>1. 課題をつかむ。</p> <p>(1) フラッシュカードで漢字の読みを確かめる。</p> <p>(2) 前時の学習を振り返り、宿題の答えを確かめる。</p> <p>①似た意味を表す漢字の組み合わせ ②意味が対になる漢字の組み合わせ ③上の漢字が下の漢字の意味をくわしく説明している ④上の漢字が動作や作用を、下の漢字がその対象を表す ⑤上の漢字が下の漢字の意味を打ち消している</p> <p>(3) 「非礼」の意味を考える。 (4) めあてを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">熟語の型分けをしながら意味を考えよう</div>	15分	<p>○ 単元で扱う熟語が正しく読めるように、PC版フラッシュカードを使って確かめる。読みが曖昧な熟語は全体で読みを確認する。（視点1）</p> <p>○ 前時の学習を想起させ、5つの型を確認する。言葉を添えるとよいことや、→などを入れるとよいことを確認する。</p> <p>○ 宿題の確かめは時間をかけずにテンポ良く進める。誤答の多いものについてはくわしく説明して理解できるようにする。</p> <p>○ 宿題で取り扱った「非礼」の意味を考えることで、熟語の型分けのよさを確認する。</p> <p>○ 前時に集めた熟語の中で意味が分からなかった単語の意味を考えていくことの見通しを持つ。</p>
<p>3. 熟語の型分けをしながら意味を考える。</p> <p>(1) 熟語を型分けするゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 15分間のグループ対抗とする。 ・ 熟語5問について型分けを考える。 <p>① 節電…④ 電気を節約する ② 幸福…① 幸せ ③ 連載…③ 続けて載せること ④ 往復…② 行き帰り ⑤ 未来…⑤ これから先のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解答用紙に型分けの解答を書く。 	15分	<p>○ 時間を保障し、また、時間制限を与え、グループ内のどの子も積極的に活動できるようにする。学び合いの中から、言葉のおもしろさに気づくことができるように机間指導の中で話し合いの結果を肯定したり、疑問を挟んだりする。（視点2）</p> <p>○ 漢字辞典や国語辞典の活用を奨励し、その有用性を実感させる。</p> <p>○ 意味を推測してから、辞書を引くように支援する。</p>

<p>(2) 答え合わせをする。</p>	<p>10分</p>	<p>○ 漢字と漢字の間に「と」や「の」を入れたり、「を」を補ったり、訓読みにしたりするとよいことを想起させる。</p> <p>○ 学び合いを深められるよう、発表したり、発表を聞いたりできるよう交流できる場を確保する。</p> <p>※ 達成基準（話し合い） A：話し合いに積極的に参加して熟語の構成意味を考え、意味を推測している。 B：熟語の構成を考え、意味を推測している。 <手立て> A：型分けの理由を分かりやすく発表できるよう支援する。 B：自信を持って発表できるよう支援する。 C：漢字一字ずつの訓読みを確認し、5つの型に順番にあてはめてみて考えさせる。</p>
<p>4. 本時の学習を振り返り、感想を書く。 ・漢字一字一字の意味を考えれば、熟語の意味もだいたい分かる。</p>	<p>5分</p>	<p>○ 構成から意味を推測する楽しさを共有し合い、言葉に対する興味や感性を高める。</p>

■ 授業の実際（5年生 国語「熟語の構成」）（Tは教員、Cは児童）

1. 課題をつかむ

- T 漢字の復習からいきます。まず全員で。そのあとは一人ずつ。（フラッシュカード）
- T 今は何の勉強をしていますか。
- C 熟語の構成。
- T 熟語って何ですか？
- C 2字以上の漢字の組み合わせでできた言葉です。
- T 構成って何ですか？
- C 組み立てることです。
- T そうです。熟語の構成は、漢字の組み立ての勉強ですね。どんなものがありましたか。
- C 似た意味の組み合わせです。
- C 反対の意味です。
- C 上の漢字が下の漢字を詳しく説明している言葉。
- C 上の言葉が動作や作用を、下の漢字が対象。
- C 上の漢字が下の漢字を打ち消す。
- T 打ち消すって何ですか？
- C ×ってこと。
- T 他の漢字は？
- C 「非」「不」です。
- T では宿題の答え合わせをしましょう。
- ○はどうですか？
- 番です。みなさんどうですか。
- どうしてですか？（間違えた場合）わけが言える人はいますか？



○○だからです。のパターンで繰り返す。

T できましたか？間違えたのはどこですか。

C 天地、計測。

T 慣れてはきたかな？

C はい。

T 意味の分からない言葉はありますか？

C 不正。正しくないこと。

T 型分けができるといいことは何？

C 意味が分かる。

C 使えるようになる。

T 今日グループで相談しながら型分けをします。この間、新聞から見つけた熟語から5問選んでおきました。では、(板書)めあて「熟語の型分けをしながら意味を考えよう。」



フラッシュカードを使うことにより、読みを確認することができ、自信を持って学習に取り組む意欲付けになった。宿題の答え合わせをしながら、熟語の構成の復習ができた。

2. 熟語の型分けをしながら意味を考える。

T グループになりましょう。5問用意しました。節電・幸福・連載・往復・未来です。相談したり、辞書を引いていいです。矢印などを書き込んでいいです。カードとペンを取りに来てください。10分間でやります。

T (机間指導)。手分けしてやるのもいいね。

T 1番を発表する人立ってください。(節電)

C 型分けは4番です。電気を節約するです。電気と無駄を省くなので電気の無駄を省くです。

T 答えは4番です。では次。(幸福)

C 型分けは1番、幸せと運がいいこと。幸は幸せ、福はめでたいの意味です。

T みなさん正解です。次は？(連載)

C 型分けは3番でつながることと載せること。続けてやること。

C 型分けは1番です。

T どっちでしょう。

C 連は続けるって読むから上から下に読む。

C 似た意味じゃないんじゃない。

T つながって載せていくから3番ですね。次は？(往復)

C 型分けは2番 行くと帰るだからです。行くと戻るだからです。

C 型分けは3番 行ってまた帰るからです。

T どうですか？

C 2番です。

T では次。

C 型分けは5番。未が来を打ち消している。

C 型分けは2番。未だにこない。

T どっちでしょう。

C 教科書の5番のところに「未」の字があります。



T そうですね。5番です。まだ来ていないという意味です。

予想と反対に、何グループかが誤った答えを出していたので驚いた。しかし、グループでは活発な話し合いができ、また他のグループの発表を聞き、より考えを深めることができた。

3. 本時の学習を振り返り、感想を書く。

C 未来の未が打ち消しているだったとは思いませんでした。

C 何となく意味が分かり便利でした。

C 一つ一つの漢字に意味があって、いろいろな構成になっている。

取り組んだ問題数は5問と少なかったが、辞書を活用しながら、また、友だちと話し合うことで意欲的に学習することができた。熟語の構成や漢字一字一字の意味に興味を持ち、漢字に対する苦手意識をなくすよう、指導を継続していきたい。

■ 授業研究を通して明らかになったこと（成果○と課題●）

(1) 視点1について

○ フラッシュカードを使うことでテンポ良く、集中して取り組むことができていた。継続することでより読みの力がついていく。

● よりテンポ良く進めるために、見やすい字体や問題数の見直しが必要。

(2) 視点2について

○ グループの中で分担したり、声を掛け合ったりする場面が見られ、学び合いがあった。

● グループ活動の中でも発言力の弱い児童に対して、教師がどう関わっていけばよいか。

(3) 全体を通して

○ 国語辞典、漢字辞典の引き方がよくできている。今までの取り組みが育ってきている。

○ 問題を5問に精選したことで、児童はよく考えることができていた。

● 前半の宿題の答え合わせの仕方を工夫すれば、時間短縮になったのではないか。

● 全体的に発表の声が小さい。